

第27回茨城県歯科医学会 テーブルクリニック

平成31年2月3日(日曜日)開催の第27回茨城県歯科医学会におきまして、テーブルクリニックを開催いたします。

今年は、午前の部(10:00~11:30)、昼の部(12:00~13:30)、午後の部(14:00~15:30)の3部制での開催です。

参加ご希望の方は、セッティングの都合上できるだけ事前登録をお願いしたく、ご案内申し上げます(事前登録なしでも参加できますが、事前登録の方には優先的に席を準備いたします)。

次ページに演題・演者掲載いたします。テーブルクリニック抄録のみ事前抄録集に先立ちご案内いたします。

一般演題・各種企画を含めたプログラム・タイムテーブルをお知りになりたい方は、茨城県歯科医師会ホームページに掲載予定のプログラムをご覧ください。



申込書

午前の部:

希望演題 【 A-1, A-2 】

昼の部:

希望演題 【 L-1, L-2 】

午後の部:

希望演題 【 P-1, P-2 】

※希望する演題を で囲んでください。

所属:(地区歯科医師会名)

歯科医師会

氏名

職種: 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士, その他 (○で囲んで下さい)

日中連絡先

登録は、12月10日(月曜)～茨歯会事務局までお願いします。

Phone: (029) 252 - 2561 FAX: (029) 253 - 1075

テーブルクリニック プログラム

I. 午前の部 10:00～11:30

A-1. 歯科は子供の成長発達・応援隊

三の丸歯科医院 (水戸市歯科医師会)

小林充明

A-2. 摂食嚥下機能評価における頸部聴診方法 —頸部聴診法を即実践可能にするために—

市村歯科医院 (土浦石岡歯科医師会)

市村和大

II. 昼間の部 12:00～13:30

L-1. 歯科治療に応用する4波長のレーザーをいかに使用するか

大洗中島歯科医院 (東西茨城歯科医師会)

中島京樹

L-2. 今さら聞けない抗血栓薬服用患者における抜歯の疑問点

(公社)地域医療振興協会 石岡第一病院 口腔外科 (土浦石岡歯科医師会)

筑波大学臨床教授

萩原敏之

III. 午後の部 14:00～15:30

P-1. 日常の診療で遭遇しうる偶発症とその対応

森永歯科医院 (水戸市歯科医師会)

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

(公社)地域医療振興協会 石岡第一病院

富士市立中央病院

森永桂輔

P-2. 歯科医師と歯科衛生士に知ってほしい!リグロス®を使った歯周組織再生療法の実際

水戸インプラントクリニックおおとも歯科 (水戸市歯科医師会)

大友孝信

A-1

歯科は子供の成長発達・応援隊

三の丸歯科医院（水戸市歯科医師会）

小林充明

近年、子供たちの心と体の異変がクローズアップされています。睡眠障害、アレルギーや熱中症、喘息、副鼻腔炎、姿勢の悪さ（猫背、側弯症など）、子供のロコモティブ症候群、口呼吸や弱視の増加、メンタル的な発達障害の顕在化等、多くのトラブルを持つ子供が増加しています。これらの問題を解決するために、医学的・行政的な支援が様々に行われ、その方々の熱意には頭が下がる思いです。本日、これらの問題が歯科の対応で大幅に改善されることをご報告いたします。《治療の概要》

当医院では10年以上前より、呼吸と咬み合わせの關係に着目し、大人の不定愁訴（頭痛、めまい症、頸椎症、…）などの改善を行ってきました。そして、故目良 誠先生との出会いから、子供の成長・発達に応用できることが分かり、診療所に来院する子供たちに積極的に取り組んでもらっております。呼吸改善マウスピースを用い、睡眠中の呼吸改善を行い、顎骨（顔面呼吸頭蓋）にメカニカルストレスを与えることにより、呼吸器、循環器の成長を促進させ、心身共に寄与します。

歯科の役割が子供たちの成長・発達そして人類の健康にどれだけ大きく重要であるということ、少しでもご理解いただければ幸いです。

日歯生涯研修コード：2805

A-2

摂食嚥下機能評価における頸部聴診方法

—頸部聴診法を即実践可能にするために—

市村歯科医院（土浦石岡歯科医師会）

市村和大

摂食嚥下機能の評価において、頸部聴診法は欠かすことのできない評価方法です。現在摂食嚥下機能の精密検査においては、嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査が一般的に行われていますが、両検査とも利点と欠点があり、その欠点を補完する役割も頸部聴診法は担っています。具体的には嚥下内視鏡検査であれば、鼻から内視鏡を挿入した状態での摂食嚥下機能の評価になり、嚥下造影検査であれば検査室にてバリウム等を混ぜた食材を用いて検査をする必要があります、どちらも日常の摂食嚥下機能を正確に評価できないことが（特に認知症の患者さんなどで多く）あります。

しかし頸部聴診法であれば特に侵襲もなく、患者さんの普段の食事の環境で、普段の食事内容を評価することが可能になります。またさらに頸部聴診法はどの職種でも、手軽に実施可能であるというのも利点の一つです。

今回のテーブルクリニックでは、どなたでも、またどの職種でも簡単に頸部聴診法が可能となる方法を解りやすくご説明したいと思います。

筆者は臨床の現場において、「嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査ができないと摂食嚥下機能の評価や指導を行うことができないのではないか？」という話をよく耳にします。しかしながら実際にはそのようなことはなく、頸部聴診法の技術や食事場面における観察方法等の知識があれば可能になることがほとんどです。

2040年に向け、これからますます超高齢の多死社会になり、多くの方が多かれ少なかれ摂食嚥下障害になることが予想されます。皆さんのお力で一人でも多くの摂食嚥下障害患者さんを救い、「死ぬまで口から食べる」を実現できるようにしていただけると幸いです。

市村先生のテーブルクリニック A-2 は、『かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所』施設基準届出の「高齢者の心身の特性（認知症に関する内容を含む）」研修に該当します。

受講者には修了証を発行しますので、事前登録をお願いいたします。当日参加者には後日発行となります。

日歯生涯研修コード：3405

日歯生涯研修コード：3405

L-1

歯科治療に応用する 4 波長のレーザーをいかに使用するか

大洗中島歯科医院（東西茨城歯科医師会）
中島京樹

目的：2018 年 4 月の改訂で、ほぼすべての認可歯科用レーザー機器が、保険点数加算を処置に使用できるようになった。具体的使用方法が併記されていることも周知の事実である。当然、各販売会社のセミナーあるいは、過去の各種 EBM に見ると開きがある場合がある。同じような処置に、異なる波長のレーザーをいかに使用するか。また、どのレーザーが使用上の利便性に優れるのか、気になるところである。今回は、各種レーザーの使用を通して、使い分けの目的、使い勝手と利便性を比較してみたい。

方法：保険加算が認められた処置への、各種レーザーの応用を波長別に経過観察する。医科で認められている光学治療機器の応用に、歯科疾患が含まれる場合、歯科で応用できる機器についても検討していく。

結論：硬組織に応用するなら、選択肢は Er:YAG レーザーしかない。しかし、止血効果の優れた使用方法として軟組織に応用するには水の併用をなくすなどの使用方法に工夫が必要になる。炭酸ガスレーザーは、軟組織の切除・蒸散性に優れるが、導光方法により施術に差が出る。ダイオードレーザー、Nd:YAG レーザーは吸収組織の特異性ゆえに注意が必要である。

考察：波長特性は、物質の吸収波長に左右される。出力特性によっても、施術後の経過は変化する。これらを熱作用としてのみ副作用を処理するのは、疑問が残る。ここ 10 年の、海外の基礎研究も含め生物学的光学作用を理解することも新たな課題になると考えられた。

L-2

今さら聞けない抗血栓薬服用患者における抜歯の疑問点

(公社)地域医療振興協会 石岡第一病院 口腔外科
(土浦石岡歯科医師会)
筑波大学医学医療系臨床教授
萩原敏之

超高齢社会に突入し、多剤服用高齢者の歯科への受診がごく当たり前となっている。特に抗血栓薬服用については、観血的治療の多い歯科領域では問診で必ずチェックが必要で、適切な対処が求められている。多くの臨床歯科医は、「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」にて対処していると思われるが、実際にすべてガイドラインに従っていいのかどうか疑問に思われているところもあると推察する。当テーブルクリニックは、その疑問点の解決に少しでもお役立ていただければと思います。最近普及しつつある直接的経口抗凝固薬 (DOAC) を加えた 2015 年版のガイドラインを改めて分析し、さらに病院歯科口腔外科で行われている出血予防法、適切な止血法についても解説する。

今回先生方の多くが疑問に思っている、「歯科の偶発症としての術後出血の原因は何か?」「本邦での術後出血による死亡事故はどのようなものか?」「普通抜歯ではほんとうに抗血栓薬は休薬しなくてもいいのか?」「INR はどのように役立てればよいのか?」「術前に注意を要するのはどのような症例か?」「必ず処方医とカンファレンスするのはどのような症例か?」「出血予防策は何か?」「出血させてしまったらどのように対処するのか?」等について解説する。ほかにも疑問点はあると思うので、当クリニックで質問していただき、一緒に考えていきたい。

患者さん、医師、歯科医師すべてにとって、安心して抜歯が行われるよう、今回のテーブルクリニックでの Q&A が、明日からの臨床にお役立ちいただければ幸いです。

萩原先生のテーブルクリニック L-2 は、
『かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所』
施設基準届出の「**歯科疾患の重症化予防に資する継続管理**」研修に該当します。

受講者には修了証を発行しますので、事前登録をお願いします。当日参加者には後日発行となります。

日歯生涯研修コード：3101

日歯生涯研修コード：3001

P-1

日常の診療で遭遇しうる偶発症とその対応

森永歯科医院（水戸市歯科医師会）
（公社）茨城県歯科医師会口腔センター水戸
（公社）地域医療振興協会 石岡第一病院
富士市立中央病院
森永桂輔

診療中、目の前の患者さんが急変したら、どなたでも焦ってしまうでしょう。しかも普段の外來診療ではもちろん点滴も確保していませんので、すぐに薬剤の投与もできません。そのような時、その患者さんの急変の原因が予想できれば、その後のとるべき対応が明らかとなり、少しでも落ち着いて行動がとれるはずで

す。しかし、一言で意識消失といっても、それにいたった原因として、過換気・誤嚥による窒息・局所麻酔中毒・心筋梗塞・脳梗塞・肺塞栓・低血糖・電解質異常・アナフィラキシーショック・不整脈など、経過観察でよいものから静脈ルートを確認し薬剤投与を行わないといけない場合・ルートの確保よりも優先される処置（薬剤の筋注・除細動などの電氣的治療）がある場合など、いくつも考えられ、その原因によって対応策は様々です。

今回は、私が実際に経験した症例も交え、その症例ごとに原因検索と対応策を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

P-2

歯科医師と歯科衛生士に知ってほしい！ リグロス®を使った歯周組織再生療法の実際

水戸インプラントクリニックおおとも歯科
（水戸市歯科医師会）
大友孝信、渡邊佳菜、飯田千尋

歯科衛生士は、毎日のように一所懸命予防の大切さを患者に伝えていきます。この気持ちを通じて、通院して下さる患者がいることはうれしいことです。しかしながら、せっかく定期的な検診を続けてくれたのに歯周病が悪化してしまう患者もいます。メンテナンスだけでは、歯周病から守れない事実は、とても悩ましい問題です。このように、「進行した歯周病が治らなくて困っている経験」をお持ちの方に、ぜひ新しい再生療法の可能性を知って頂きたいのです。この再生療法は、特別な歯科衛生士や歯周病治療のスペシャリストだけのものではありません。一般的な歯科医院で行なえる再生治療です。私たちの歯科医院では、「良い結果を出す為には歯科衛生士と歯科医師の連携が必要」と考えています。歯科医師まかせでも、歯科衛生士まかせでもうまくいきません。役割分担が必要です。

再生療法にはリグロス®という薬を使いますが、今回はリグロス®を知らないという歯科衛生士と歯科医師向けの入門セミナーですので、受講に際して専門的な知識は必要ありません。リグロス®とは、組換え型ヒト bFGF（塩基性線維芽細胞成長因子）を有効成分とする世界初の歯周組織再生医薬品のことです。2016年9月に「歯周炎による歯槽骨の欠損」の効能・効果で製造販売承認を取得した日本製の治療薬です。

このテーブルクリニックでは、手術を受けて頂きたい歯周病患者への説明方法や薬の購入方法、使用方法から、使用に際しての注意点に至るまでを学んで頂きたいと思います。私たち歯科衛生士を信頼して歯周病予防のために通ってくれる患者の笑顔の為に是非受講して下さい。受講後は「この時代の歯科衛生士、歯科医師になれて本当に良かった」と思えるような内容にしたいと思います。気軽にご参加下さい